

平成28年度第3回 文化財保護委員会 抄録

(市民憲章唱和)

1 委員長あいさつ

2 協議事項

(1)安城市郷土史出版奨励事業補助金の審査について

(事務局)

【資料説明】

- ・福釜神明神社創建五百年誌
- ・花のき 22号 創立四十周年記念号

(委員)

福釜五百年誌については、地域史を民俗まで含めた広い意味で捉えれば内容としても妥当で非常によい作りである。

花のきについては雑誌なのか？雑誌であれば定期刊行物となり、補助対象外だが。定期刊行物ではなく本として捉えるならば妥当である。

発行前、発行後のどちらでも申請可能だが出来れば発行前の申請にしたほうがよいのでは？

(委員長)

特に否定的な意見はでなかったので、今回は両方補助対象としたい。

(2)東海道のマツ並木の保存について

(事務局)

【資料説明】

(委員一同)

庁内で意見の相違があるようだが、マツは後世に残すべき大切な文化財であるとの認識をもって対応していただきたい。

(事務局)

歩行者の安全性とのバランスを考えて公園緑地課・維持管理課と協議しケースバイケースで対応させていただく。

(3)指定文化財所有者講習(仮称)について

(事務局)

【資料説明】

(委員一同)

非常にいい取り組みであり、委員として協力したい。委員の負担が増えるのは止むを得ない。

管理調査の際の講習だけでなく、文化財系の職員による所有者との日々のコミュニケーションも大切である。

(4)新規市指定文化財候補について

(事務局)

【資料説明】

追加候補

- ・上条町白山媛神社、安城町若一王子社の相撲柱
- ・井杭山町高津社のツブラシイ・アラカシ

(委員一同)

一度、現物を見た上で判断したい。

3 報告事項

(1)国指定史跡 姫小川古墳の発掘調査について

(事務局)

【資料説明】

12月17日に現地説明会を行った。

成果としては、古墳の形状がより正確に分かったことと、今まで姫小川古墳にはないと思われていた埴輪が出土したこと。

(2)銅鐸形土製品の出土について

(事務局)

【資料説明】

坂戸三本木遺跡で12月に発見された。

かなり小さいが精巧に銅鐸を模している。ただ模様がないので時代の特定は難しい。これが出てきたことによって、今後安城市内で銅鐸が出土する可能性も出てきた。

(3)文化財防火訓練について

(事務局)

【資料説明】

1月28日に東端八剣神社で行う。

(4)安城市指定史跡 東端城址の土塁崩落防止のその後について

(事務局)

【資料説明】

前回の委員会で指導いただいた方法で、29年度に工事予定。

(5) 桜皮巻き小形壺形土器について

(事務局)

【資料説明】

1月の県の文化財審議会で承認されれば単独で県指定文化財となる予定。調査の結果、従来どおりサクラ属の皮と判明した。国内で唯一。

(6) 本證寺境内整備事業の進捗について

(事務局)

【資料説明】

今年度、本證寺南側の工場を買収した。今後は、平成29年度に西側の田んぼ2,793㎡を買収、平成32まで順次買収を進めていく予定。

(7) 「第31回国民文化祭・あいち 2016 安祥文化のさとまつり&本證寺太鼓フェスティバル～歴史を楽しむ健幸市民～」の結果について

【資料説明】

来場者数等報告

- ・安祥文化のさとまつり:14,078人
- ・本證寺フェスティバル:7,732人
- ・万歳フェスティバル:602人